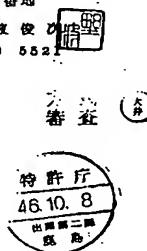


特許庁長官 井土武久後記号なし

1. 発明の名称 スライドファスナ
2. 発明者 住所(居所) デンマーク國、コペンハーゲン、ヴァルビ。  
氏名 ホフフデザインズペイ 14  
ハリー、ハンセン
3. 特許出願人 住所(居所) スイス國グラルス、ブルクシユトラーセ 24  
氏名(名称) オブテ、ホールディング、アクチエンゲゼル  
(田舎) シヤフト、代表者 フリツツ、ペーテル。  
スイス國 フュイツィ
4. 代理人 甲 160  
住所 東京都新宿区信濃町11番地  
氏名 (6739) 井原士野 俊 俊  
電話 (363) 5521
5. 添付書類の目録
 

(1) 明細書	1通
(2) 図面	1通
(3) 願書副本	1通
(4) (委任状同訳文 各1通)	
(5) 变更履歴書同訳文 各1通	

46-279101



### 明細書

1. 発明の名称 スライドファスナ
2. 特許請求の範囲
 

熱可塑性合成樹脂製結合リンク列からなり、その該結合リンク列は、結合されて固定鎖を構成する固定鎖環子と、この環子に接続する結合リンクとからなるスライドファスナにおいて、

同一平面上にあるスライドファスナの各半分の固定鎖環子2がスライドファスナの縦方向に並んだ縫孔3の列を構成し、上記縫孔で縫糸を固定し、その縫孔3は、縫孔3の幅よりもせまい幅をもつ可とう性のウエーブによって互いに結合されていることを特徴とするスライドファスナ。



(1)

(2)

② 特願昭 46-279101 ⑪ 特開昭 47-8678  
⑬ 公開昭 47. (1972) 5. 8  
審査請求 無 (全 6 頁)

⑯ 日本国特許庁

### ⑬ 公開特許公報

府内整理番号

⑯ 日本分類

6936 35

121 A351

### 3. 発明の詳細な説明

本発明は熱可塑性合成樹脂製結合リンク列をもつスライドファスナに関する。その該結合リンク列は結合されて固定鎖を構成する固定鎖環子と、環子に接続した結合リンクとからなっている。この種のスライドファスナは公知であり、たとえば英國特許第 871,455 号のものでは、スライドファスナの各半分が二つの重なつた脚部または二つのロ字形脚部と、脚部間にある固定鎖とからなっている。この種の公知の構成において、固定鎖環子は縫孔としてではなく、ジグザグ状に連続している。縫製によって固定し、從つて縫針を個々の固定鎖環子の間に貫通する必要がある場合には可とう性が失なわれ、さらに分割間隔(個々の結合リンクの距離)も正確でなくなる。從つて、きわめて小型のスライドファスナを公知方法で製造することは困難である。さらにいわゆる分割間隔すなわち結合リンクの間隔を十分に限定することができます。縫付けや使用的の縫とくに大きい力が加わつた場合に、これが変化することがある。從つ

特開 昭47-8678 (2)

て、この種のスライドファスナは被服工業に使用されていない。木綿テープの頭からなる支持帶に射出成形された合成樹脂製結合リンク列を有するスライドファスナ（米国特許第1,719,856号）は公知であるが、結合リンクを比較的大きめにする必要がある。そうでなければ、結合リンクと支持帶とを十分に結合することができないからである。

本発明の目的は、スライドファスナを接着すべき生地等に容易に固定でき、その上大きい曲げ应力が加わった場合にも所定の分割間隔を十分に保持することができるよう、上記のスライドファスナを供することにある。

本発明は、熱可塑性合成樹脂製結合リンク列を有するスライドファスナに関する。その際結合リンク列は、結合されて固定端に構成される固定要素と、この固定要素に接続した結合リンクとから成っている。

本発明の特徴により、スライドファスナの各半分の、同一平面上にある固定要素は、スライド

ファスナの導方向に並んだ縫孔を構成し、縫孔で縫糸を固定し、その際縫孔は縫孔よりもせまい環をもつウェブによって互いに結合されている。ウェブに結合用の切込みや切欠部を設けることができる、また縫糸案内用ナットを設けることもできる。<sup>字面</sup>  
この結果、スライドファスナをその平面上でもまた平面から外向きに自由に曲げたり巻いたりすることができ、このことは実用上きわめて有利である。しかし、それにもかかわらず固定要素が退屈しているために、スライドファスナは事實上織に伸びないので、分割間隔すなわち個々の結合リンクの距離は固定されており、スライドファスナを被服等の基材に取付ける間に、分割間隔の変化が生じることはない。換言すれば、本発明によるスライドファスナをスライドファスナの平面上で、または平面から外向きに曲げる場合、自由に運動させることができる。分割間隔が不正確であると、スライドファスナの強度は減少することが実験に認められている。しかるに本発明によるスライドファスナの分割間隔は正確に保たれているので、



(3)

スライドファスナの強度はきわめて大きい。従って本発明により、熱可塑性合成樹脂材料を用いて、一方では可とう性を与え、他方では分割間隔を保持することができる。以上のように、純粋に織物の複点から見て、スライドファスナの大きさによって、種々の合成樹脂技術を応用して、スライドファスナを製造することができる。

本発明による固定要素の構成を種々変化させることができる。たとえば円形または椭円形の縫孔を設け、これを上記のように、互いに結合することができる。縫孔の輪郭を矩形または正方形にすると、実用上有利であり、とくに成形が容易である。

本発明により、縫孔の下側に、突起または爪状の定位部材を設ける。スライドファスナを接着すべき被服等の基材に、上記の定位部材をいわば押込むことができるので、スライドファスナを基材に確実に取付けることができる。または本発明によるスライドファスナの定位部材を同時に接着用突起として構成することができる。これによつて、



(4)

スライドファスナと基材とを容易に接続することができる。

以上に説明したように、本発明のスライドファスナにより分割間隔を容易に確実に固定することができる。固定要素が縫孔を構成する場合、縫糸を固定するための形状を同時に設けることができる（第7図）。この場合、縫針を案内するため上向きに拡張部を、縫孔の上側に設けると、非常に速い速度で縫製することができる。このよう構成すれば、スライドファスナに取付けられる基材とスライドファスナとを縫付けるミシンの針を縫孔に挿入する際、いわば針が心出しされるか、または反対に縫孔が針によって心出しされることになる。従つて、スライドファスナ<sup>を</sup>縫付ける際の製造上のすべての公差を減少することができる。

本発明によるスライドファスナの厚みを任意にすることができる。スライドファスナは全体として比較的平らであることが必要である。従つて結合リンクにおける十分な結合を達成するに必要な程度だけスライドファスナを厚くすればよい。こ



(5)

(6)

のために、本発明により、固定鏡素子はスライドフアスナの厚みにおよそ等しい厚みを有する。それにもかかわらず、十分な可とう性どころか、最適の可とう性を容易に得ることができる。この場合、本発明により、鏡孔の、結合リンクと反対の側に、スライダ案内用フランジを形成し、スライダの上板をこのフランジで案内する。その際スライダの下板は単に結合リンクの下側を捕えている。ここに、スライダの上板と下板ならびに結合リンク列の下側という場合、スライドフアスナを接着すべき被服などの基材と反対側をなすわち接続すべき側を上側という。しかし、スライドフアスナをいわゆる覆われたスライドフアスナとして被服などに鏡付けた場合、被服に鏡付けられた、スライドフアスナのこの側は通常見えないようになつていて、またスライダ案内用フランジは固定鏡素子の範囲において、可とう性の結合用膜を有するので、これによつて可とう性を害することなしにスライダの案内をさらに改良することができる。

本発明によるスライドフアスナを、とくに被服



(7)

スライダは、第5図に示すように覆われたスライドフアスナとして、たとえば被服のような基材4に直接取付けられている。すなわち、被服の内側に取付けられており、被服を滑した場合にも基材4の折り返し5のために、実際には見えない。しかし、実施例に記された以外の仕方で取付けることもできる。固定鏡素子2には結合頭部6が形成されている。第1-5図とくに第1図において、固定鏡素子2は、固定用の鏡孔3を有する。しかし第6-7図のように、とくに固定部材5を滑接用突起として構成し、被服等の基材4と接続することもできる。いずれの場合にも、固定鏡素子2はウエブ7を介して連続しているので、自由にたわむことができる。ウエブ7は、固定鏡素子2の幅よりもせまい瘤を有し、切欠部および切込部を有している。このためにスライドフアスナの平面において自由にたわむことができるし、さらに平面から屈曲することもできる。

なお第1-5図において、スライドフアスナ1のいわゆる上側に鏡糸案内用<sup>滑</sup>8を取けること



(8)

特開 昭47-8678 (3)

等の基材に容易に取付けることができる。とくに被服に取付ける場合、通常、いわゆる覆われたスライドフアスナとすることができるので、ズボン等の下着用スライドフアスナとして好適である。本発明によるスライドフアスナが、その平面においておよび平面から外向き方向に変形した場合にも分割間隔を十分に保持することができ、さらに非常に小型のスライドフアスナを製造することができ、公知の固定型または移動型を用いて射出成形法によつて製造することができる。

実施例を示す添付図面により、本発明を次に詳しく説明する。図示したスライドフアスナは、互いに結合できる結合リンク1を有する結合リンク列、固定装置およびスライダからなる。結合リンク列とその固定装置は熱可塑性合成樹脂製で同時に成形されたものである。固定装置は、結合されて固定鏡を構成する固定鏡素子からなる。スライドフアスナが接着される基材4、たとえば被服や支持帯の端に固定鏡素子を直接に固定するために、固定鏡素子は固定部材5を有する。実施例による



(9)

ができる。スライドフアスナを組立てた状態において、一般にこの案内側は被服等の基材4から離れた側に位置する。実施例において、固定鏡素子2自体は矩形で互いに斜めに連続している。これによつて、縱方向の安定性を容易に得ることができるので、縱方向に比較的大きい曲げ応力を受けたり加圧された場合にも結合リンク1の分割間隔9を保持することができる。

第5、7図において、固定鏡素子2の下側に突起または爪状の定置部材10が設けられ、これによつて、スライドフアスナは被服等の基材4にいわば位置をめられ押込まれる。第7図において、定置部材10は同時に滑接用突起として構成されている。

第1-5図において、鏡孔3の上側は鍛針を案内するために上向きに拡張されているので、鍛針またはミシンを鏡孔3に容易に案内することができる。

第1図に示したスライドフアスナは、スライダを有する。第5、7図において、スライダ11の



(10)

特公 昭47-8678 (4)

上板13を案内するためのスライダ案内用フランジ12が固定板素子2の、結合リンク1と反対の側に設けられている。しかしスライダの下板14は結合リンク1の下側を捕えているにすぎない。さらに、実施例において、スライダ案内用フランジ12は、固定板素子2のウエブ7の範囲において可とう性の結合用膜15によって互いに接続されている。固定板素子2の厚みは結合リンク1の厚みにおよそ等しいので、スライダ案内用フランジ12に十分な厚みを与えることができる。素子2の厚みは、結合リンク1における結合部分16によつて規定される。従つて、全方向に、すなわちスライドフアスナの平面方向ばかりでなく、平面に直角な方向においても、十分な安定性を与えることができる。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるスライドフアスナを組付けた状態の拡大斜視図で、一部は開放されている。第2図は第1図のスライドフアスナの半分を一そり拡大した上面図、第3図は第2図の矢印▲方向

における側面図、第4図は第2図の矢印B方向における側面図、第5図は第2図の矢印C-Cにおける断面図、第6図は他の実施例の、第2図と同様の図、第7図は第6図の矢印D-Dにおける断面図である。

1 結合リンク	2 固定板素子
3 締孔(固定部材)	4 基材
5 折り返し	6 結合頭部
7 ウエブ	7A 案内用ナット 7B 固定部材 7C フランジ 7D ナット
9 分割間隔	10 定位置部材
11 スライダ	12 案内用フランジ
13 スライダ上板	14 スライダ下板
15 結合用膜	16 結合部分

特許出願人 オブチ・ホールディング、  
アクチエンゲゼルシヤフト

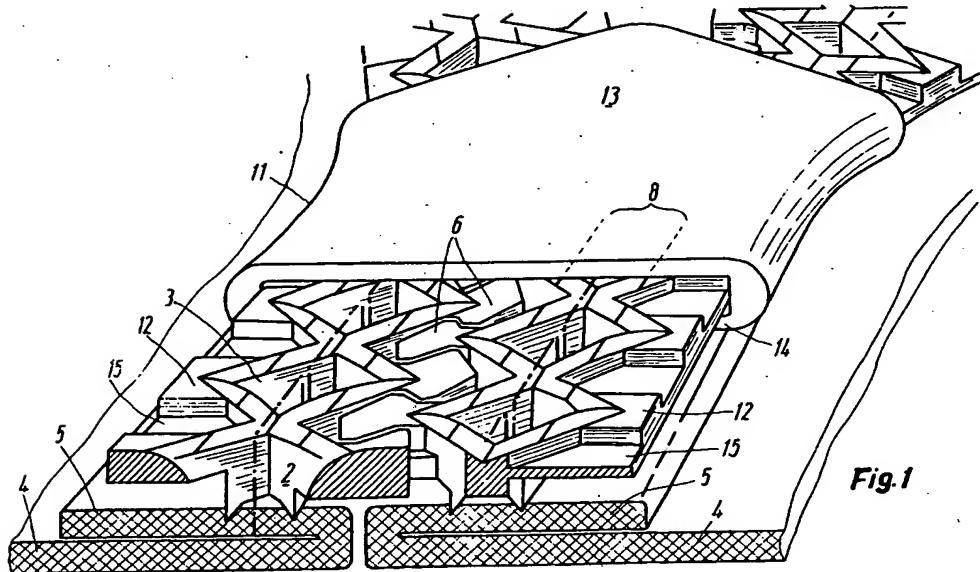
代理人 弁理士 野波俊次



(11)



(12)



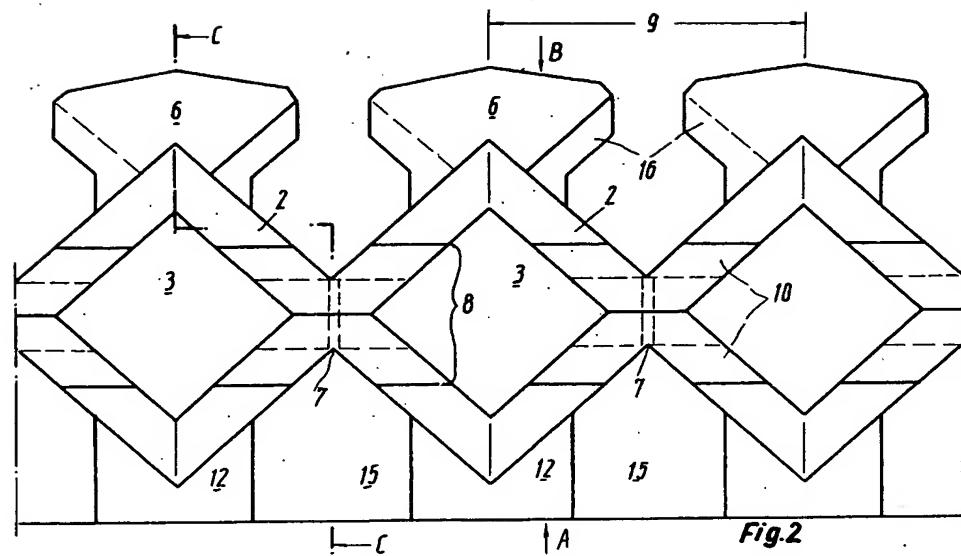


Fig.2

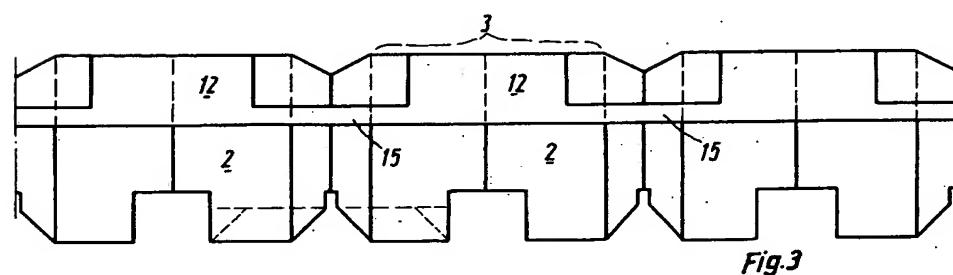


Fig.3

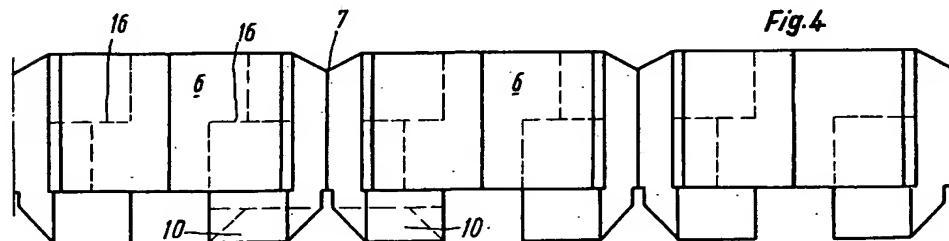


Fig.4

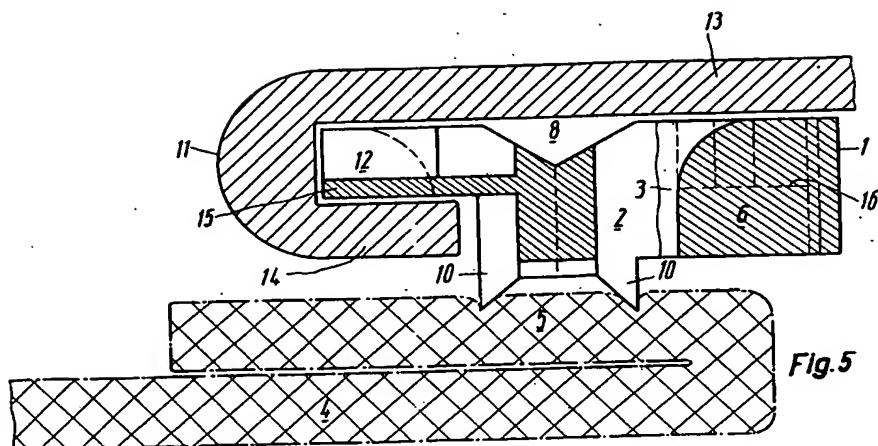


Fig. 5

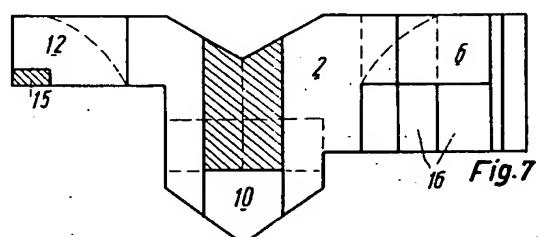


Fig. 7

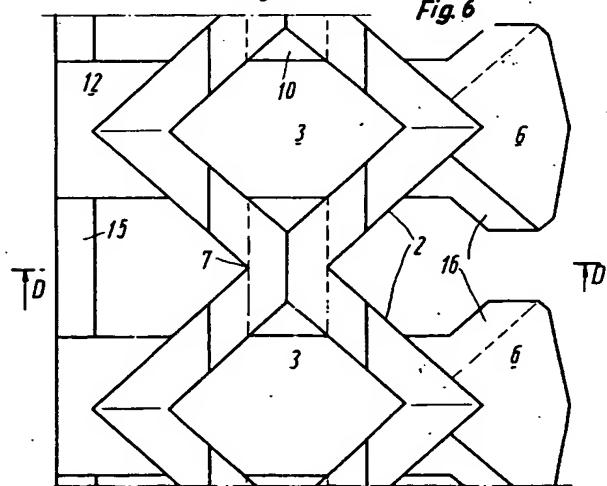


Fig. 6

昭 49 5.21 発行

特許法第17条の2による公報の訂正

昭和46年特許願第79101号の明細書（特開昭47-8678号 昭47.5.8  
発行の公開特許公報 47-174号掲載）は公開後の補正に基づいてその公報を下記のとおり訂正する。

6936 35 12/A35/

（自発的）手続補正書

昭和48年12月27日

特許庁長官 黒藤英輔 殿

1. 事件の表示

昭和46年特許願 第79101号

2. 発明の名称 スライドファスナ

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所（居所）スイス国グラルス、ブルクシュトゥーレン 24  
氏名（名称）オブチ・ホールディング・アクチエンゲゼルシヤフト  
(国籍) スイス国 代表者 フリツツ・ペーテル・ツヴィツィー

4. 代理人

住所 東京都新宿区信濃町11番地  
氏名 (6739) 井理士 野波 俊次  
電話 (363) 5521

5. 補正命令の日付

6. 補正により増加する発明の数 3

7. 補正の対象 明細書

8. 補正の内容 別紙の通り



補正の内容 (46-79101)

- (1) 1頁、特許請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。
- (2) 2頁5行  
「素子」を「この素子」に補正。
- (3) 同9行  
「固定端」の後に「素子」を加入。
- (4) 同12行  
「構製」の前に「このために」を加入。
- (5) 3頁6行  
「結合リンク」の前に「結合リンクどうしおよび」を加入。
- (6) 同16～17行(2箇所)  
「固定素子」を「固定端素子」に補正。
- (7) 4頁1行  
「縫孔」の後に「列」を加入。
- (8) 同2行  
「縫孔」の後に「の幅」を加入。
- (9) 同3、4行  
「結合」を「接続」に補正。

(10) 4頁9～10行

「連続」を「互いに接続」に補正。

(11) 5頁10行

「結合」を「接続」に補正。

(12) 同15行

「投げる。」の後に「このために」を加入。

(13) 7頁11～12行

「すなわち………すべて例」を削除。

(14) 同17行

「範囲」を「ウエブの範囲」に補正。

(15) 同17行

「結合用………を有する」を「接続用膜を有してもよい」に補正。

(16) 10頁1行

「組立てた」を「取付けた」に補正。

(17) 同2～3行

「から離れた」を「の反対」に補正。

(18) 11頁7行、12頁13行

「結合用膜」を「接続用膜」に補正。

昭 49.5.21 発行

## 2. 特許請求の範囲

(1) 結合されて固定鏡を構成する固定鏡素子との固定鏡素子に接続する熱可塑性合成樹脂からなる結合リンクとを有するスライドファスナにおいて。

同一平面上にあるスライドファスナの各半分の固定鏡素子(2)がスライドファスナの縱方向に並んだ縫孔(3)の列を有し、上記縫孔で縫糸を固定し、その縫孔(3)は、縫孔(3)の幅よりも狭い幅をもつ可とう性のウエブ(7)によつて互いに結合されていることを特徴とするスライドファスナ。

(2) 結合されて固定鏡を構成する固定鏡素子との固定鏡素子に接続する熱可塑性合成樹脂からなる結合リンクとを有し、その際同一平面上にあるスライドファスナの各半分の固定鏡素子がスライドファスナの縱方向に並んだ縫孔の列を有し、上記縫孔で縫糸を固定し、縫孔の幅よりも狭い幅をもつ可とう性のウエブによつて縫孔が互いに結合されている構成を有するスライ

ドファスナにおいて。

縫孔(3)の下側にスライドファスナを素材に取付けるために突起または爪のような定位部材を有することを特徴とするスライドファスナ。

(3) 結合されて固定鏡を構成する固定鏡素子との固定鏡素子に接続する熱可塑性合成樹脂からなる結合リンクとを有し、その際同一平面上にあるスライドファスナの各半分の固定鏡素子がスライドファスナの縱方向に並んだ縫孔の列を有し、上記縫孔で縫糸を固定し、縫孔の幅よりも狭い幅をもつ可とう性のウエブによつて縫孔が互いに結合されている構成を有するスライドファスナにおいて。

縫孔(3)の下側にスライドファスナを素材に取付けるために突起または爪のような定位部材を有し、この定位部材が差接用部材をかねていることを特徴とするスライドファスナ。

(4) 結合されて固定鏡を構成する固定鏡素子との固定鏡素子に接続する熱可塑性合成樹脂からなる結合リンクとを有し、その際同一平面上

(1)

にあるスライドファスナの各半分の固定鏡素子がスライドファスナの縱方向に並んだ縫孔の列を有し、上記縫孔で縫糸を固定し、縫孔の幅よりも狭い幅をもつ可とう性のウエブによつて縫孔が互いに結合されている構成を有するスライドファスナにおいて。

縫孔(3)の、結合リンク(1)と反対側に、スライド案内用フランジ(12)を設け、これによつてスライダ(11)の上板(13)を案内するが、この結合スライダ(11)の下板(14)は結合リンク(1)を下からつかんでいることを特徴とするスライドファスナ。

(2)

(3)

2-

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**